

2012年度 愛知大学・後援会・同窓会奨励賞授与式

(後援会課外活動奨励賞、同窓会奨励賞、公務員試験合格者奨励賞)



日時 | 2013年3月2日(土)11:00~12:30
場所 | 車道校舎 本館3階 コンベンションホール

プログラム

- 一. 開式
- 一. 挨拶 3団体代表 愛知大学後援会会長 大島 俊明
- 一. 愛知大学後援会課外活動奨励賞
選考結果報告 愛知大学 学生部委員長 有菌 正一郎
奨励賞授与
- 一. 愛知大学同窓会奨励賞
選考結果報告 愛知大学同窓会 広報委員長 堀田 久富
奨励賞授与
- 一. 愛知大学公務員試験合格者奨励賞
試験結果報告 愛知大学 就職委員長 吉川 剛
奨励賞授与
- 一. 受賞者代表謝辞
公務員試験合格者奨励賞受賞者 代表
課外活動奨励賞受賞者 代表
同窓会奨励賞受賞者 代表
- 一. 閉式

2012年度 同窓会奨励賞受賞者一覧

● 最優秀奨励賞

個人

みやた いちろう
宮田 一郎氏 | 1944年(昭和19年)東亜同文書院大学(第41期)卒業



東亜同文書院大学の学風を継承した中国語研究と教育、普及活動

◆ 推薦趣旨 ◆

帰国後、福井県立高校に勤務のかたわら中国語の研究を進める一方、福井大学で中国語の教鞭をとる。後に大阪市立大学教授として中国語の研究と教育に携わり、その後大東文化大学、京都外国語大学、北陸大学においても中国語の指導にあたる。

専門分野は、文法機能及び方言語彙で、特に呉語（上海を中心とする方言）の研究では第一人者であり、東亜同文書院大学の中国人と接して中国語を学ぶ学風を研究、教育において継承した。

中国現地の研究者と密接な連携を図る中で、『漢語方言大詞典』、『明清呉語詞典』を復旦大学、蘇州大学と共同編集し、両大学の顧問教授となる。8年間にわたりNHK テレビ、ラジオで中国語講座を担当し、日本中国語検定協会名誉理事を務めるなどをして実践的な中国語の教育、普及に貢献した。

- ◇ 略歴 ◇ 1923(大正12)年福井市に生まれる。福井県給費生として、1940(昭和15)年東亜同文書院大学に入学(第41期生)／1943(昭和18)年学徒出陣で応召、1944(昭和19)年東亜同文書院大学を繰り上げ卒業、終戦により現地除隊／帰国後、福井県立高校・福井県教育委員会に勤務／1969(昭和44)年大阪市立大学に招聘、爾来中国語の教育・研究に専念／1985(昭和60)年同大学を辞し、大東文化大学・京都外国語大学・北陸大学教授を歴任／1991(平成3)年北陸大学を辞し、研究生活／中国復旦大学・蘇州大学・上海大学の顧問教授、北京東方大学客座教授の称号を受ける／著書・訳書・編書『新華字典第10版日本語版』(光生館)、『中国語文法概論』(光生館)、『文型を中心とした中国語文法演習』(光生館)、『中国語大辞典』(角川書店)、など多数。

うえむら まさよし
上村 真由氏 | 1970年(昭和45年)大学院経済学研究科経済学専攻(修士)修了



国内外を問わず多面的なボランティア活動に従事

◆ 推薦趣旨 ◆

愛知大学大学院を修了後、会社勤めを経て英語塾経営の傍ら、森林保全ボランティア活動に従事。ミャンマー人留学生をホームステイで受け入れ、その縁でミャンマーを訪問し同国の現状を知り、NPO法人「日本ミャンマー友情の架け橋」を立ち上げ、同国に5つの小学校・養護学校を建設・運営している。

また、内戦状態にある同国のカチン族の支援も行い、2012年7月に東京においてNPO法人「ピース(PEACE)」を設立。国内支援では、森林保全ボランティア団体「ほんぼこ山」を結成し森林保全活動を展開、東日本大震災で打撃を受けたカキ養殖筏用の間伐材を送る支援を行う。

また、がん研究支援を訴えるチャリティーマラソン「生命の駅伝」の開催や、外国人にボランティアで日本語教育など、実に幅広いボランティア活動を展開されている。国内外での積極的で多面的なボランティア活動を、70歳を越える現在も、なお継続して展開されていることは極めて顕著である。

- ◇ 略歴 ◇ 1942(昭和17)年三重県紀北町生まれ／1970(昭和45)年愛知大学大学院経済学研究科修了。卒業後、私塾開設。20年ほど前から社会的貢献活動開始／1995(平成7)年がん研究支援のための「EKIDEN FOR LIFE 命の駅伝」(前テリーフォックスラン)の活動を始める／1997(平成9)年在住外国人のための日本語教室、「松阪にほんごの会」を開設／1998(平成10)年 森林ボランティア「ほんぼこ山」開設／2000(平成12)年ミャンマーへの支援活動開始。学校・孤児院建設をはじめとして様々な支援活動を行う／2012(平成24)年NPO法人PEACE発足。ミャンマーの少数民族支援活動開始。

● 優秀奨励賞

個人

いらい とおる
岩井 透氏 | 1951年(昭和26年)旧制法経学部経済科卒業



大学と同窓会との交流の礎を築いた功労者

◆ 推薦趣旨 ◆

愛知大学在職中は大学の拡張期にあり、学部学科の増設で文部省の折衝にあたり、法経学部第二部、短期大学部(女子)の増設、三好キャンパスの建設に心血を注いだ。また中日大辞典の大改訂、販売については印刷会社、販売会社を変更して成功し増刷を繰返し、現在発行部数15万部を越えている。

また、事務局長在任中に同窓会館建設の責任者として1978(昭和53)年10月、300名収容の講堂、事務室及び多目的用の6室のほか、ガーデンサロン(作品等展示)もある同窓会館が豊橋キャンパス正門前に完成した。現在、同窓会豊橋支部相談役も務める。第9代久曾神昇学長時代に、大学事務局長として同窓会とのその後の礎となる強い関係を築いた。

- ◇ 略歴 ◇ 1955(昭和30)年2月愛知大学理事室勤務／1961(昭和36)年短期大学部事務長以降名古屋校舎総務課長等を経て1974(昭和49)年事務局長／1977(昭和52)年理事就任／1986(昭和61)年参与／1992(平成4)年定年退職 この間に財団法人愛知県国際交流協会より国際交流功労者として表彰、三好町(現みよし市)より学術文化功労者として表彰された。また愛知大学からは名誉役員の称号が授与された。現在、愛知県日中友好協会理事、豊橋地区日中友好協会参与

いと う かずのぶ
伊藤 般展氏 | 1950年(昭和25年)旧制法経学部経済科入学 推薦校友



大学と中国との国際交流を支えた功労者

◆ 推薦趣旨 ◆

長年にわたり、愛知県ならびに豊橋地区で日中友好・教育交流など国際交流に尽くし、江蘇省中日友好協会館の実現に努力された。現在も NPO 愛知県日中友好協会副会長、豊橋地区の会長をつとめ、また中国南通市の小学校・友好学校の最高顧問をされ、数々の翻訳も行うなど貢献した。

◇ 略歴 ◇ 1950(昭和25)年愛知大学旧制法経学部経済科入学 / 1991(平成3)年6月中国南通市と豊橋市との友好都市締結の特別功労として除燕南通市長より特別表彰と江蘇省第1号の「南通市名誉市民」の称号を授与 / 1997(平成9)年9月日中国交正常化活動の功労により日本中国友好協会全国本部平山郁夫会長より特別功労の表彰状を授与 / 2000(平成12)年6月日本中国友好協会創設50周年を記念し、永年友好事業推進功労により日中友好協会全国本部平山郁夫会長より特別表彰状を授与 / 2004(平成16)年8月豊橋市の国際交流推進の功績により早川勝市長により豊橋市勢功労者表彰を授与 / 2006(平成18)年5月日中関係発展の尽力により平山郁夫日本友好協会会長より特別顕彰の表彰を授与 / 2006(平成18)年12月中国江蘇省人民政府の外国人友好交流者表彰中「第1位江蘇省友誼賞」及び記章を授与 / 2012(平成24)年1月江蘇省南通市との友好交流拡大に対する多大な貢献を顕彰するため「江蘇省人民友好使者」の称号を授与 / 現職 NPO 愛知県日本中国友好協会副会長 豊橋地区日本中国友好協会会長 南通市虹橋小学校最高顧問 南通市人民対外友好学校最高顧問 青海省人民対外友好協会海外理事 / 訪中歴151回(内67回の南通市訪問を含む)

と だ かずゆき
戸田 七支氏 | 1960年(昭和35年)法経学部経済学科卒業



郷土史家として我孫子の文化を調査・研究

◆ 推薦趣旨 ◆

郷土史家として、布佐(千葉県我孫子)を中心に、同地域の歴史・文化に関する調査・研究に取り組んでいる。その成果のうち今まで公表したのものとしては「布佐と源頼朝」と「布佐と柳田国男」が二大テーマとなる。

同氏によれば、これらはオリジナルな内容であるとのことで、事実、これを裏付けるものとして、昨年(2011年)2月20日および翌21日付「毎日新聞」の「房総文学散歩—我孫子市布佐と柳田国男—」欄で、同氏の写真紹介付きで研究成果の一端が引用紹介された(この記事は同年12月、崙書房出版社より「房総文学散歩—描かれた作品と風土」に収載刊行)。

◇ 略歴 ◇ 1960(昭和35)年愛知大学法経学部経済学科中国経済専攻コース(第1期)卒業 / 豊田工業(株)パイロット万年筆(株)・(株)永製作所に勤務 / 現在「我孫子の文化を守る会」理事 / 前同窓会千葉支部長、現在同窓会代議員、千葉支部顧問 / 発表論文「柳田国男の青春」「布佐の鎌倉物語」「女化伝説と源頼政」ほか多数

あさの ひろあき
浅野 博亮氏 | 経済学部4年次生



男子バレーボール部における活躍

◆ 推薦趣旨 ◆

178センチと小柄ながらも、中学時から日本代表選手に選出されるなど、優れたバレーセンスを兼ね備えたエースアタッカー。

平成21年、愛知大学経済学部に入学生、男子バレーボール部に入部。以後、在学4年間、行われた東海リーグ戦8シーズンのうち、6回の優勝に中心的な役割を担い貢献した。東海リーグ戦では、新人賞・ベストスコアラー賞・最優秀選手賞・猛打賞(西日本)・サーブレシーブ賞等数々受賞した。

特筆すべきは、平成22年、東海リーグ所属チームとしては初となる西日本インカレ優勝にも貢献し、猛打賞を受賞し、平成24年の東西対抗戦には西軍の一員に選出され、主力アタッカーとして、また、チームを牽引し、関東リーグを中心に著名なプレーヤーをそろえる東軍を打ち破る快挙を成し遂げた。このような全国区の活躍から、バレーボールの雑誌にも何度も取り上げられ、本学の名を高めることに貢献した。

◇ 略歴 ◇ 2009(平成21)年愛知大学経済学部経済学科入学

奨励賞

個人

あまの まり
天野 まり氏(本名:小林 真利) | 1975年(昭和50年)短期大学部卒業



演劇人としてオリジナルミュージカルの上演・作・演出・出演

◆ 推薦趣旨 ◆

愛大短大に入学後、演劇研究会に所属し、毎日演劇に夢中の学生時代を過ごした。卒業後は上京し、劇団青年座研究所一期生となり、ここを卒業後は作曲家いずみたく主宰のミュージカル劇団フォーリーズに所属し、多数のミュージカル作品に出演、ここではオリジナルミュージカルの全国公演にも参加するなど多方面で活躍。退団後は同じ豊橋市出身の三ツ矢雄二氏や声優としてブレイク中の田中真弓氏らと劇団プロジェクトレビューを設立、解散後も専門学校でダンス・演技講師を務める傍ら、1999年にミュージカル劇団 M・M・C(マルチ・ミックス・カンパニー)を旗揚げし現在に至る。

また、2009年からは故郷豊橋にて、定期的にミュージカルワークショップや地元の子供たち参加による劇団オリジナルミュージカルの上演を行っている。三河の地に演劇という文化・芸術の種をまき花を咲かせる“花咲おばさん”宣言中!

◇ 略歴 ◇ 1975(昭和50)年愛知大学短期大学部卒業 / 卒業後、劇団青年座研究所1期生となる / ミュージカル劇団いずみたくフォーリーズに所属 / 1984(昭和59)年劇団プロジェクトレビュー旗揚げ / 解散後、代々木アニメーション学院 声優・タレント科、原宿ダンスアカデミーにてダンス講師を務める傍ら、1999(平成11)年大志溢れる若者と共に、劇団 M.M.C 旗揚げ / 2010(平成22)年かつての演研仲間と東三河演劇実行委員会を立ち上げ、毎年演劇フェスティバルを開催 / 2012(平成24)年豊川市民ミュージカル「ロミオとジュリエット」の演出を手がける / 現在、劇団 M.M.C. 代表、日本演出家協会会員、笑いヨガリーダー

ふじかわ りょう
藤川 僚氏 | 現代中国学部4年次生



学生会会長として学生生活の充実、モラルの徹底などに力を注ぎ、同窓会と学友会の調整に貢献

◆ 推薦趣旨 ◆

学友会会長として学生生活の充実に取り組み、モラルの徹底などに力を注いだ。特にクラブ活動時のモラル徹底には大いに意を注ぎ、ある部室における学生の喫煙発覚の際には、一定期間の部活停止を学友会において決定、学内掲示し、モラル向上を図った。

特筆すべきは、同窓会主催の全国総会・創立60周年記念祭と学生主催の愛大祭のコラボレーションを行うことを、同窓会・学友会において決定し、大学の協力のもと、愛大祭実行委員会と同窓会の全国総会・創立60周年記念祭実行委員会との間にあって、熱心に情熱をもって調整に当たり、11月10日・11日両日に亘って本学開校以来という2万5千人もの参加者を得、成功に導いた功績は大きい。

◇ 略歴 ◇ 2009（平成21）年愛知大学現代中国学部現代中国学科入学

かみや えり
神谷 依里氏 | 経済学部4年次生



体育会弓道部における活躍

◆ 推薦趣旨 ◆

- ①第56回 東海学生弓道秋季リーグ戦 女子個人優勝
- ②第55回 東海学生弓道選手権大会 女子個人四位
- ③第36回 女子東西学生弓道選抜対抗試合に東海地区代表として西軍に出場、西軍優勝に寄与した。

◇ 略歴 ◇ 2009（平成21）年愛知大学経済学部経済学科入学

はやし たろう
林 太郎氏 | 経営学部3年次生



愛大祭実行委員長として創立60周年記念祭と愛大祭のコラボレーションを成功に導いた

◆ 推薦趣旨 ◆

同窓会主催の全国総会・創立60周年記念祭と学生主催の大学祭のコラボレーションを開催するにあたり、数々の会議を重ね、事前の準備から当日の進行まで責任をもって対応し、11月10日・11日両日に亘って本学開校以来という2万5千人もの参加者を得、成功に導いた功績は大きい。

◇ 略歴 ◇ 1991（平成3）年愛知県新城市出身／2010（平成22）年新城東高等学校卒業、愛知大学経営学部経営学科入学

● **最優秀奨励賞**

団 体

しょうりんじけんぼうぶ
少林寺拳法部



東海学生少林寺拳法大会での10年連続総合優勝を果たす

◆ 推薦趣旨 ◆

少林寺拳法部は全国でも最も古くから活動を始めた大学拳法部の1つであり、昨年、創部50周年を迎えた。創部当初より東海学生少林寺拳法連盟の設立に携わり、他大学との交流や、学生大会の開催を企画、運営するなど、この地域の大学拳法部の発展に大きく貢献している。

また、この地域唯一の学生の大会である東海学生少林寺拳法大会では13回の総合優勝を果たしている。とりわけ平成15年の第39回大会から、今年の第48回大会までの10年連続総合優勝は賞賛に値する。

● **優秀奨励賞**

団 体

経営学部経営学科 土屋仁志ゼミ 石原国治／可児美の里／神原亜耶／向井みなみ／村上琴乃



日経 BP マーケティング「西日本インカレ2012」準グランプリ（準優勝）

◆ 推薦趣旨 ◆

この5名の学生は、日経 BP マーケティング主催の『西日本インカレ2012』（予選：11月18日／本選：12月16日）に出場し、準グランプリ（準優勝）を獲得した。

『西日本インカレ』は、中部以西にある大学生を対象としたビジネスプレゼンテーションコンテストであり、本年度は過去最多の50チーム、約300名の大学生が参加した。中部圏からは13チームが出場したが、本選（決勝）に進めたのは愛知大学の2チームのみであった（もう1チームも同ゼミナール学生）。

「香りブランディング」というテーマで、『“香り”を企業のブランディングに利用することは出来ないか？』との仮説に立ち、経営学的な立場と生理学的なアプローチを踏まえ研究を行ってきた。学術的な視点にとどまらず、実際にビジネスのシーンで運用する際の具体的な方法論を提示し、このことが評価され準グランプリ獲得につながった。今回の愛知大学の準グランプリ獲得は、中部圏の大学としては初の『西日本インカレ』での入賞となった。

奨励賞

団体

あいちだいがくおうえんだん 愛知大学応援團



豊橋市教育委員会から「青少年賞」を受賞

◆ 推薦趣旨 ◆

愛知大学応援團は、愛知大学が設立された1946年から間もない1951（昭和26）年に創團され、昨年度には60周年を迎えた全国でも屈指の歴史と伝統を誇っている。

團訓（応援団員たるものの心がけ）には、「義務」「責任」「誇り」「禮儀」「節度」「闘志」が掲げられており、これらを実践するため団員は日々精進している。

その主な活動は、体育会系クラブ等に対する応援演舞により学生の士気を鼓舞させることである。また、大学内では課外活動の牽引者として確固たる地位を築いている。さらに同團演舞披露の依頼は、大学内の式典・諸行事に止まらず、地域社会においても引く手あまたである。

昨今では、地元中・高等学校の応援部への演舞指導、地震等天災の際の街頭での義援金の呼びかけなど、献身的な活動を行っており、その実績が公にも認められ、本年度は豊橋市教育委員会から「青少年賞」を受賞する栄誉を受けた。応援團のこれらの活動が継続されていることは賞賛に値するものである。

だんし 男子バレーボール部



全国レベルの優秀な戦績と地域貢献活動

◆ 推薦趣旨 ◆

平成24年度第134回東海大学男女バレーボール秋季大会男子1部リーグ戦が、9月23日から10月21日まで開催され、本学は7戦全勝という完全優勝を遂げた。平成元年の初優勝から通算し、実に20回目の優勝となる快挙となった。今大会の最優秀選手賞にはセッターで主将を務めている萩原大暉（経済学部3年・浜松市立）君が、猛打賞には浅野博亮（経済学部4年・長野日大）君が、それぞれ受賞し、校舎移転に伴い、練習環境が整わない中、学生の自主的な運営・努力によって成し遂げた偉業であるといえる。

東海大学リーグは40校前後の加盟校（愛知・岐阜・三重・静岡・滋賀）から成り、1～5部で構成され、所属チームが最も力を注ぐのが春季・秋季リーグ戦である。初優勝から後、24年間に行われた48回のリーグ戦で、本学は20回の優勝を遂げたが、平成以降の優勝回数は、本学が加盟校最多である。

あいちだいがくきゅうどうぶ 愛知大学弓道部



体育会弓道部における活躍

◆ 推薦趣旨 ◆

1. 第46回 愛知県下学生弓道選手権大会に於いて男子の部で団体優勝。
2. 第47回 中日本弓道近畿選手権大会に於いて男子の部で団体優勝。
3. 第56回 東海学生弓道秋期リーグ戦に於いて男子団体の部で3位入賞。（参加32校）

経営学部会計ファイナンス学科 一木毅文ゼミ 代表：藤井 優



日本経済新聞「第12回学生対抗円ダダービー」4位入賞

◆ 推薦趣旨 ◆

本大会は5月末と6月末の円ドル相場を予想してその精度を競う大会であり、中学校以上に在学する者が5名以上でチームを構成して参加するものである。第12回となる今年の大会は全74校449チームが参加した。本大会には、一木准教授担当のゼミ生の中から有志で参加者を募り、昨年（第11回）大会から参加しているが、これは学生の自発的な活動、課外活動として位置付けられている。

入賞した学生のうち4年次生の5名は昨年の大会にも参加したメンバー。5名は相場予想のため国際経済動向を分析し、4月から2か月以上の期間にわたって議論を重ね、相場予想のための議論にも常に参加しており、日本経済新聞社にも表彰状に名を連ねるチームのメンバーとして認められている。

これまでの学修成果を活かし、為替相場の予想を通じて、経済や国際情勢の理解を深め、この結果に結びついたことは、愛知大学同窓会奨励賞にふさわしい活動であるといえる。



学生主体の模擬裁判による地域貢献

◆ 推薦趣旨 ◆

愛知大学法学部は、2012年12月15日（土）に車道校舎で市民を対象とした模擬裁判を開催した。これは2009年5月にスタートした裁判員制度を市民の方々により深く理解していただくことを目的として2005年度から開催しているもので、今回が8回目である。

今回は『あなたは“この人”を裁けますか?』をテーマに、事前に裁判員役に選ばれた（一般公募）市民裁判員に証人尋問や評議に参加、来場者にも判決を考えていただくことにより、多くの方に裁判員制度の理解を深める機会になったと思われる。

この模擬裁判の試みの特色は、「学生主体の企画・運営」と「地域貢献」にある。すなわち、学生が主体となって企画・運営し、その成果を広く一般公開して地域社会への貢献をも試みたものである。それは、法学部教育と大学の地域貢献とをドッキングさせた愛知大学法学部ならではの特色ある模擬裁判であり、一般の方々の裁判への関心を高めることにつながった。

● **資格試験奨励賞**

司法試験



井上 卓也

法学部法学科2009年3月卒業



河村 潔俊

法科大学院法務研究科2009年修了



黒川 舞純

法科大学院法務研究科2010年修了



中尾 俊介

法科大学院法務研究科2010年修了



増井 皓一

法科大学院法務研究科2011年修了



宗 真紀子

法科大学院法務研究科2012年修了



田中 了照

法科大学院法務研究科2012年修了



大場 創介

法科大学院法務研究科2012年修了



加藤 耕輔

法科大学院法務研究科2012年修了



袈 貞嬉

法科大学院法務研究科2012年修了



菊田 絵美

法科大学院法務研究科2012年修了



金田 正敏

法科大学院法務研究科2012年修了



葛谷 直人

法科大学院法務研究科2012年修了



西口 誠

法科大学院法務研究科2012年修了



古性 英二

法科大学院法務研究科2012年修了

公認会計士試験



萩田 裕

経営学部会計ファイナンス学科2011年卒業



橋本 高宏

会計大学院会計研究科2009年修了



竹内 恭平

会計大学院会計研究科2年次生

税理士試験



青山 みゆき

会計大学院会計研究科2012年修了

愛知大学同窓会奨励賞授与取扱要領

目的

この取扱要領は、本会会員（渾友会、推薦校友を含む。）並びに愛知大学関係者（教職員、在学生等）が社会・文化・学術・芸術・スポーツ等の分野に於いて活躍し、または、これらの分野で活躍することが期待される個人又は団体に対し、愛知大学同窓会（以下「同窓会」という。）が「同窓会奨励賞」を授与するために定める。

表彰

表彰は、会員から推薦または申請のあった個人及び団体に対し、選考の結果、個人にあっては表彰状並びに副賞（記念品）、団体にあっては表彰状並びに副賞（奨励金）を授与する。

推薦

候補者の推薦（自薦を含む。）は、毎年12月20日までに社会・文化・学術・芸術・スポーツ等の分野で活躍のあった個人又は団体について、活躍の内容をまとめた推薦書（800字程度）を同窓会会長宛に提出する。ただし、叙勲及び功労賞等の受賞者は対象から除くものとする。

申請

資格試験奨励賞は、毎年12月20日までに、会員から同窓会長宛に申請書および合格したことを証明する書類（写し）を提出する。

選考

会員から推薦のあった個人及び団体について、同窓会広報委員会で選考し、同窓会常任理事会で決定する。

表彰の種類

表彰の種類は、個人、団体とも次のとおりとする。

- A 最優秀奨励賞（全国レベルでの活躍）
個人…記念品 10万円相当 団体…奨励金 10万円
- B 優秀奨励賞（地域レベルでの活躍）
個人…記念品 5万円相当 団体…奨励金 5万円
- C 奨励賞（一般的な活躍）
個人…記念品 3万円相当 団体…奨励金 3万円
- D 資格試験奨励賞

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中又は卒業した者で以下の試験に合格した者。

【対象資格試験】

- 1 新司法試験 2 公認会計士試験 3 弁理士試験 4 国家公務員第I種試験 5 司法書士試験 6 税理士試験
- 個人…記念品3万円相当

附則(制定)

この取扱要領は、2003年1月18日から施行する。
この改正取扱要領は、2006年5月13日より施行する。